

地域消防署長

フードトラック検査チェックリスト (2021年6月)

本書は、複数の消防管轄区で認められている標準的な検査です。

1年に一度、参加管轄区であればどこでも検査を受けることができ、その検査はすべての参加管轄区で認められます。

ただし、各地域の消防署に連絡し、必要に応じて、その管轄内で営業する前にフードトラックの許可証を取得する必要があります。

他の管轄区で検査を受けた場合、許可手数料が割引になる場合があります。

参加管轄区：<https://www.kingcountyfirechiefs.org/fire-prevention/>

移動食品販売車の名称：

郵送先住所：

担当者：

電話番号： Eメール：

L&I番号 (VEN)： ナンバープレート番号：

検査日： 消防署：

検査官の署名：

検査の概要 - 地域

- 許可済 - 違反事項なし
- 営業を許可する - 違反事項を是正すること
- 営業を許可しない - 違反事項を是正すること

地域検査チェックリスト

書類

	合格	不合格	該当なし
1. ワシントン州のL&I証明ステッカー	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2. 消防署の許可証	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

調理システムタイプ-1 フード (油脂を含んだ蒸気が発生する場合)

合格 不合格 該当なし

1. 調理用消火システムは **UL300** リストに登録されており、保守および清掃が行われている。
- 最終点検日： (半年ごと) _____
 - 最終清掃日： _____

2. 手動式の火災警報器を利用でき、障害物もない。

合格 不合格

料理用油の保管

1. 総量が**120**ガロン未満である。
2. 貯蔵タンクは、輸送中に転倒したり、損傷したりしないように保管されている。

液化石油 (Liquid Petroleum, LP) ガスシステム

合格 不合格 該当なし

1. LPタンクは、車外に設置されているか、車外に排気する蒸気の漏れないキャビネット内に設置されている。
2. 車両の後部にあるLPタンクには、十分な衝突保護が施されている。
3. LPタンクの最大サイズが**200**ポンド未満である。(4.23ポンド = 1ガロン)
- タンクの数： _____
 - タンクのサイズ： _____
 - 最終検査日： (年1回) _____
 - 最終耐圧試験日： _____

4. LPタンクはしっかりと取り付けられ、かつ、配管が保護されている。

5. LPガス警報器が設置され、作動し、テストされている。

- 最終テスト日

:

6. LP遮断弁が設置され、かつ、利用できる。

7. 車外で使用または保管するLPタンクは、不燃性のストラップまたはチェーンで直立状態で固定し、衝撃から保護されている。

圧縮天然ガス (Compressed Natural Gas, CNG) 装置

	合格	不合格	該当なし
1. すべてのCNG容器は天然ガス自動車 (Natural Gas Vehicle, NGV) -2シリンダーで、最大サイズは1300ポンド未満である。 。(1 フィート ³ = 8 ポンド) <ul style="list-style-type: none">• タンクの数 : _____• タンクのサイズ : _____• タンクの有効期限 : _____• 最終検査日 : _____ (3年ごと)• 最終耐圧試験日 : _____	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2. タンクはしっかりと取り付けられ、かつ、配管が保護されている。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3. メタンガス警報器が設置され、作動し、テストされている。 <ul style="list-style-type: none">• 最終テスト日 : _____	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

可搬式消火器

	合格	不合格	該当なし
1. 台所火災用消火器を避難経路に沿って設置している (揚げ物用鍋または固形燃料を使用する場合)。 <ul style="list-style-type: none">• 最終点検日 (年1回) _____	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2. 防火システムは、台所火災用消火器の近くに設置したプラカードを使用している。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3. 2A:10B:C 可搬式消火器を、避難経路に沿って設置している。 。LPガスを使用する場合、可搬式消火器は2A:40B:Cである。 <ul style="list-style-type: none">• 最終点検日 (年1回) _____	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

電気関連

	合格	不合格	該当なし
1. 延長コードが損傷しないように保護されている。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2. 配電盤が開いておらず配線が露出していない。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

発電機

合格 不合格 該当なし

- | | | | |
|---|--------------------------|--------------------------|--------------------------|
| 1. 発電機は、可燃物から10フィート以上離れた場所に設置されている。 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 2. 内燃エンジンへの給油は、調理作業中には許可されず、発電機および内燃動力源が使用されていない場合にのみ許可されている。 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |

フードトラックに必要な書類の保管

以下の書類のコピーをフードトラックに必ず保管してください。これらは、消防署の検査官からいつ提出を求められるか分かりません。

- 火災検査報告書（この用紙または検査を行った消防署から交付されたその他の書類）。
- 業務用レンジフード、消火システム、消火器の点検・検査・清掃報告書のコピー（使用している請負業者が作成したもの）。
- その地域の消防署から発行されたフードトラックの許可証のコピー。